

ハンディターミナル



ご使用前に、本ユーザーズガイドをよくお読みいただき、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

記載内容に関するご注意

- 本書では、本機をご使用になる上での基本的な取り扱い方法について説明しております。業務のためのキー操作方法、データ通信方法など、アプリケーションにかかわる取り扱いや、使用上の注意につきましては、ソフトウェア供給者による操作説明書をお読みください。
- 本書では、本機のプログラミング方法、ダウンロード方法等について記述していません。
- 本書は誤記の無いように注意して編集しておりますが、誤記や記載漏れがあった場合でも、それに起因するお客様の直接の損害、不利益につきましては、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書に記載されている内容は、予告なく変更することがあります。
- 本書の一部又は全部を無断で使用することはできません。

安全上のご注意（必ずお読みください）

本機は安全に十分考慮して設計されています。しかし、間違った使い方をすると、火災や感電などにより人身事故につながることもあり大変危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

危害・損害の程度とその表示（必ずお読みください）

取り扱いを誤った場合に生じる危害や損害を、次のような記号を用いて安全上の表示しております。

	「死亡又は重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容を示します。
	「死亡又は重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。
	「障害を負う可能性又は物的損害の発生が想定される」内容を示します。

本体の取り扱い

	<ul style="list-style-type: none">● 本体の取扱いは、次の点を絶対に守ってください。故障や破裂、発火、爆発、火災等の重大な事故の原因となります。 <ul style="list-style-type: none">・強い衝撃を与えたり、落下させたり、ぶつけたり、投げたりしないでください。 ・高温になる場所（火のそば、炎天下の車内など）や引火性の物質が発生する場所では使用、放置をしないでください。 ・電子レンジや高压容器などの中に入れてください。 ・火の中に投入したり、加熱したりしないでください。 ・充電端子、USB 端子をショートさせないでください。また、端子部を濡らさないようにしてください。 ・水などの液体をかけたたりしないでください。また、水がかかる場所や湿度が多い場所では充電は行わないでください。 ● 使用中・充電中に異臭・発熱に気が付いたら、直ちに使用を中止してください。
--	--

	<ul style="list-style-type: none">● スキャナ部から発光される赤色 LED 光をのぞきこまないでください。目に障害を与えるおそれがあります。目に入るような行為は絶対に避けてください。 ● 落下等、外部からの衝撃により、変形や傷などの異常があった場合は、直ちに使用をやめてください。 ● 長時間充電をして充電異常が表示された場合は、直ちに充電を中止してください。 ● 本機を分解、改造、修理しないでください。保証やサービスの対象外となります。
--	--

バッテリーパックの取り扱い

	<ul style="list-style-type: none">● バッテリーパックの取扱いは、次の点を絶対に守ってください。漏液、破裂、発火等、重大な事故の原因となります。 <ul style="list-style-type: none">・火の中に投下しないでください。 ・バッテリーパックを濡らさないでください。また、濡れた状態で充電をしないでください。 ・携行、保管する場合はバッテリーパックの端子を金属類に接触させないでください。 ・落下等、外部からの衝撃により、変形や傷などの異常があった場合は、直ちに使用をやめてください。 ・所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。 ● バッテリーパック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診察を受けてください。
	<ul style="list-style-type: none">● バッテリーパック内部の液体が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに使用をやめ、きれいな水で十分に洗い流してください。 ● バッテリーパックは当社指定の物以外は使用しないでください。

AC アダプター及び USB ケーブルの取り扱い

	<ul style="list-style-type: none">● AC アダプター及び USB ケーブルの取扱いは、次の点を絶対に守ってください。感電、断線、ショート、火災の原因となります。 <ul style="list-style-type: none">・濡れた手で電源プラグにさわらないでください。 ・電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。 ・ケーブルを AC アダプターに巻き付けしないでください。 ・破損したケーブルは使用しないでください。 ・ケーブルのつけ根部分を無理に折り曲げた状態や束ねた状態で使用しないでください。 ・屋外で使用しないでください。 ・AC アダプターを布などでくるましないでください。 ・AC アダプターのプラグについた埃は乾いた布で拭き取ってください。（トラッキング現象対策）
	<ul style="list-style-type: none">● 長期間使用しないときは AC アダプターをコンセントから抜いてください。 ● AC アダプターは当社指定の物以外は使用しないでください。 ● AC アダプターは、他の製品には使用しないでください。使用した製品が破損するおそれがあります。破損した場合、当社は責任を負いかねます。

運用に関するご注意

- 本機は海外ではご使用になれません。（日本専用モデル）日本国内仕様となっており、海外の規格には準拠していません。海外で使用された不具合につきましては、当社はその責任を一切負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機の故障や修理・その他取り扱いによって、万が一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因に係らず当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

電波障害自主規制について

本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本機がラジオやテレビ受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

Bluetooth・無線 LAN について

- 本機が使用する周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
- 本機を使用する前に、近くで移動体識別用構内無線局や特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万が一、本機から移動体識別用構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数帯を変更するか又は電波の発射を停止してください。

※本機は電波法に基づく技術基準認定済み無線装置を内蔵しています。
※Bluetooth と無線 LAN を同時に使用し、電波干渉により通信速度の低下、通信の切断などの現象が発生した場合は、同時使用をやめてください。

ご使用上の注意(必ずお守りください)

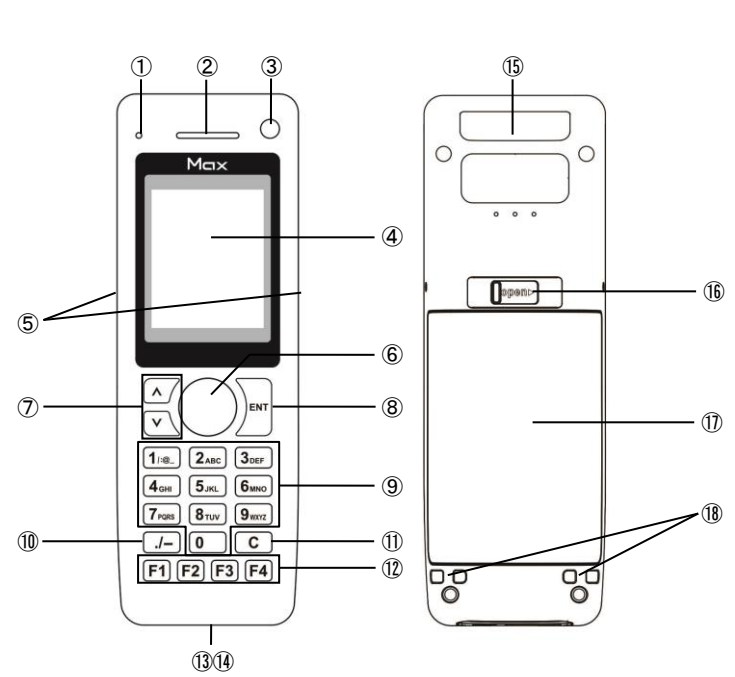
- 本機は次の環境で使用してください。範囲外で使用すると故障の原因となります。
 - 温度：動作時 -5℃～50℃ 充電時 5℃～35℃
 - 湿度：20%～85%（結露しないこと）
- 本機を取り扱いの際は次の点にご注意ください。けがや故障の原因となります。
 - ・運搬、移動時にはケーブルを外してください。
 - ・ケーブルは引っ張って取り外さず、必ずコネクタ部を持って外してください。
 - ・静電気に注意してください。
 - ・ディスプレイの表面を強く押したり、こすったり、衝撃を与えないでください。
- 大切なデータは定期的にバックアップしてください。
 - ・本機を使用する際、誤使用、落下や水濡れ等の故障又はバッテリーパックの寿命によるデータの消失や変化したことによる損害について、当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。
 - ・バッテリーレベルが低いまま本機を放置し充電が行えない状態が続くと、内蔵メモリに電源が供給されなくなります。その場合、データの消失や変化が発生してしまいます。一度消えたデータを修復することはできません。大切なデータは必ずバックアップを行ってください。
- ディスプレイの汚れは柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お手入れにアルコールやシンナーあるいはベンジンなどの有機溶剤又は研磨剤を含む洗剤を使用しないでください。
- 本機を分解、改造、修理をしないでください。保証やサービスの対象外となります。

同梱品の確認

お買い上げいただいた本機の梱包内容は、下記のようになっています。ご確認の上、万が一欠品、破損品がございましたら、お手数でもお買い上げになった販売店までご連絡ください。

- ハンディターミナル本体
- AC アダプター
- USB ケーブル
- バッテリーパック(1 個)
- ハンドストラップ
- ユーザーズガイド(本書)

各部の名称と機能



名称	機能
①バッテリー LED	バッテリー充電時の状態を表します <p>赤色点灯: 充電中</p> <p>緑色点灯: 充電完了</p> <p>消 灯: 充電異常</p>
②アプリケーション LED	アプリケーションで制御します <p>スキャンの状態やその他の動作状態を表します</p>
③電源キー	電源 ON/OFF 又はサスペンド/レジュームの切替えに使用します。
④ディスプレイ	アプリケーションを表示します <p>画面上部又は下部には、下記の各ステータスを表示します</p> <ul style="list-style-type: none"> バッテリーレベル Bluetooth 通信中 無線 LAN 電波状態 入力モード <p>00:00 時刻</p>
⑤サイドトリガーキー	バーコードの読み取りを行います
⑥スキャンキー	バーコードの読み取りを行います
⑦△(↑)・▽(↓)	カーソルを上下に移動し項目を変更します
⑧ENT キー	入力や選択を確定します
⑨テンキー	数字、英字、記号(/@_)の入力に使用します
⑩、/キー	小数点(.)、ハイフン(-)等の記号を入力します
⑪C(クリア)キー	入力や選択をキャンセルします
⑫ファンクションキー	F1～F4 に割り当てられた機能を実行します
⑬USB 端子	付属の USB ケーブルにて充電を行います <p>また、USB 通信を行います</p>
⑭リセットボタン	本機をリセットします
⑮スキャナ	赤色 LED 光を照射しバーコードを読み取ります
⑯ロックレバー	バッテリーカバーが外れないようにロックします
⑰バッテリーカバー	バッテリーパックが収納されています
⑱ストラップホール	付属のハンドストラップを取り付けてご使用ください

バッテリーパックの取り付け／取り外し

ご購入時、バッテリーパックは充電されていません。充電を行ってからお使いください。

1. バッテリーパックの取り付け

- 本機裏側のロックレバーを右側にスライドさせ、バッテリーカバーを取り外します。
- バッテリーパックのラベルが貼ってある方を上にして、図 1 のようにバッテリー端子がある方から差込み、図 2 のように取り付けてください。

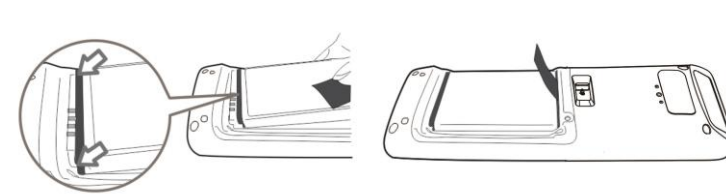


図 1



図 2

- バッテリーカバーを取り付け押し込みます。
- ロックレバーを図3のように左側にしっかりとスライドさせ固定します。 ※ロックレバーが図4のように固定されていない場合、バッテリーカバーが外れ、データ消失や故障の原因となります。



図 3

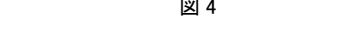


図 4

2. バッテリーパックの取り外し

- 取り外す前に、必要なデータは必ず保存してください。
- 電源を OFF にします。
- ロックレバーを右側にスライドさせ、バッテリーカバーを取り外します。
- バッテリーパックのリボンを引っ張り、取り出してください。 ※長時間取り外すとデータが消えます。 後述の「バックアップバッテリーについて」をお読みください。

バッテリーパックの充電

バッテリーパックの充電は、付属の AC アダプターと USB ケーブルを使用します。

※電源 ON の状態で、バッテリーが低電圧になると、バッテリー LED が 5 回赤色点滅します。速やかに充電を行ってください。
※充電する場合は、必ず 5℃～35℃の環境下で充電してください。
※バッテリーパックは必ず本機に入れて充電を行ってください。ほかの機器で充電すると正常に充電できません。場合によっては漏液、破裂、発熱、発火の原因になります。
※USB ケーブルは必ず付属のケーブルをお使ください。市販の USB ケーブルでは充電できない場合があります。
※コネクタの向きに注意をして差し込んでください。
※USB ハブを使用した場合、充電はできません。

1. 充電中の状態表示

充電中の状態はバッテリー LED で確認できます。

LED	状態
赤色	充電中
緑色	充電完了
消灯	AC アダプターから本機に電源が供給されていない又は高温、その他原因による充電異常

2. 充電方法

- AC アダプターの USB 端子に USB ケーブルを差し込みます。
- USB ケーブルの反対側のコネクタを本機の USB 端子に取り付けます。
- AC アダプターをコンセントに差し込みます。

3. 充電時間

バッテリーパックの充電時間は、使用環境やバッテリーパックの劣化状態などに応じて異なります。

4. バッテリーパックの交換時期

充電回数 300 回を目安にしてください。
1 年から 2 年間での定期的な交換をお勧めします。

<p>下記のような症状に気が付いた場合はすぐに使用を中止してください。機器の故障や思わぬ事故につながります。</p> <ul style="list-style-type: none">満充電をしても使用時間が短くなったとき バッテリーパックが膨らんだとき 充電中、バッテリーパックの温度が高くなったとき
--

<p>下記のような症状に気が付いた場合はすぐに使用を中止してください。機器の故障や思わぬ事故につながります。</p> <ul style="list-style-type: none">満充電をしても使用時間が短くなったとき バッテリーパックが膨らんだとき 充電中、バッテリーパックの温度が高くなったとき
--

バックアップバッテリーについて

本機はバックアップバッテリーを内蔵しています。バックアップバッテリーは、バッテリーパック交換時又は一時的な電圧低下の際に時刻や内蔵メモリに保存されているデータの消失、変化を防ぎます。

バックアップバッテリーは充電式であり、バッテリーパックから充電されます。そのため、バッテリーパックを長時間取り外したままや、充電せず低電圧状態のまま本機を放置しないでください。バックアップバッテリーが消費され、時刻や内蔵メモリに保存されているデータが消失又は変化します。

バックアップバッテリーの充電には時間がかかります。十分に充電されるまでバッテリーパックを外さないようにしてください。

充電式電池のリサイクルについて

本機のバッテリーパックはリチウムイオン電池を使用しています。また、バックアップバッテリーはニッケル水素電池を使用しています。リチウムイオン電池、ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。使用済みのバッテリーパック、バックアップバッテリーは、販売店又は充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

<p>※リサイクル時の注意</p> <p>バッテリーパックの金属部にテープ等を貼って絶縁してください。</p>
--

使用方法

- 電源 ON**

電源キーを長押し(約 1 秒)すると電源 OFF 状態から起動します。リジューム設定を ON にした場合はサスペンド状態から復帰します。 ※バッテリーカバーが開いた状態では電源キーは無効です。

- 電源 OFF**

電源 ON 時、電源キーを長押し(約 2 秒)すると電源 OFF します。リジューム設定を ON にした場合はサスペンド状態になります。

- リセット方法**

電源 ON の状態でリセットボタンを押してください。(画面が消え再起動します) 方が一、異常動作をした場合のみ使用してください。

- PC との接続**

付属の USB ケーブルを使用して PC と USB 通信ができます。 ※USB ハブを使用した場合、又は、市販の USB ケーブルを使用した場合、正常に通信できない場合があります。

- 操作方法**

業務のためのキー操作方法、データ通信方法など、アプリケーションにかかわる取り扱いや、使用上の注意につきましては、ソフトウェア供給者による操作説明書をお読みください。

バーコードの読み取り方

赤色 LED 光を照射し、バーコードを読み取ります。

所定のアプリケーションを起動後、スキャナ部をバーコードに向けてスキャンキーを押します。赤色 LED 光はバーコードの中央に当てます。



※バーコードが読み取れない場合
バーコードに対して赤色LED光の照射角度、距離を調整し読み取りを行ってください。
バーコードの幅が広い場合、全体に照射できるように距離を取ってください。
バーコードの種類やラベルの条件によって読み取れる距離が異なります。

本機の長期保管について

本機とバッテリーパックの保管は、温度と湿度をお守りいただき、結露がないところで保管してください。

長期保管される場合はバッテリーパックを取り外してください。

バッテリーパックを外して本機を保管するため、バックアップバッテリーが消費され、時刻や内蔵メモリに保存されているデータが消失します。
ご使用される際は充電後に日時設定を行ってください。

アクセサリ

- USB ケーブル ALF-Micro-USB-1W
PC との USB 通信に使用するケーブルです。
- 標準バッテリーパック ALF-BT110A
1,150mAh の標準バッテリーパックです。
- 単 4 乾電池アダプター ALF-BTC70
単 4 形乾電池(3 本)用のアダプターです。 ※アルカリ又はニッケル水素電池をお使いください

型式	ALFARK-7000X
OS	NOAH
CPU	32bit CPU
メモリ	ROM 16MB(内ユーザエリア 13MB) <p>RAM 16MB(内ユーザエリア 10MB)</p>
表示	1.7 型 透過型 TFT カラーLCD 65,536 色 <p>128×160 ドット</p> <p>全角(JIS 漢字第一水準、第二水準、非漢字) 半角(英字、数字、カタカナ、記号)</p> <p>全角: 8 桁×10 行(ステータス表示時:9 行) 半角:16 桁×10 行(ステータス表示時:9 行)</p>
LED	アプリケーション LED(緑、赤、橙) <p>バッテリー LED(緑、赤)</p>
キーボード	↑・↓・ENT キー <p>スキャンキー</p> <p>サイドトリガーキー×2</p> <p>テンキー・./-/・C キー</p> <p>ファンクションキー×4</p>
スキャナ	リニアCCDイメージャ(1次元) <p>分解能 4mil(Code39)</p> <p>1次元コード</p> <p>UPC-A、UPC-A Add-on、UPC-E、UPC-E Add-on、JAN/EAN-13、JAN/EAN-13 Add-on、JAN/EAN-8、JAN/EAN-8 Add-on、Code128、Code39、Code93、Code11、ITF(Interleaved 2 of 5)、Discrete 2 of 5 NW-7(Codabar)、Matrix 2 of 5、MSI、GS1 DataBar Omnidirectional、GS1 DataBar Truncated、GS1 DataBar Stacked、GS1 DataBar Stacked Omnidirectional、GS1 DataBar Limited、GS1 DataBar Expanded、GS1 DataBar Expanded Stacked</p>
Bluetooth	Ver.2.1+EDR Class2(10m) <p>SPP/HID/DUN-DT</p>
無線 LAN	IEEE802.11a/b/g/n
USB クライアント	USB2.0 Full Speed
ブザー	音量 4 段階(OFF 含)
バイブレーション	有り
時計機能	年、月、日、曜日、時、分、秒
電源	バッテリーパック 1,150mAh 3.7V Li-ion <p>充電時間 約 2.5 時間</p> <p>バックアップバッテリー 15mAH 2.4V Ni-MH(充電式)</p>
動作環境	温度 -5～50℃ (但し充電時は 5～35℃) <p>湿度 20～85% (結露がなきこと)</p>
保存環境	温度 -25～60℃ <p>湿度 5～95% (結露がなきこと)</p>
保護等級	IP54(防塵・防沫)
落下強度	1.5m コンクリート※1 <p>1.0m タンブルドロップ※2</p>
取得規格	VCCI Class B/TELEC/JATE
外形寸法	141mm(L)×48mm(W)×20mm(H)
重量	約 140g
AC アダプター	入力 100～240VAC 50/60Hz <p>出力 DC5V/1A</p>

※1 6 面各 3 回コンクリート面に落下。当社規定による試験値であり、保証値ではありません

※2 直径 1m のドラム内で 200 回の回転落下

商標について

- Bluetooth とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC の登録商標です。
- その他、本書に掲載の会社名、商品名は各社の商標また登録商標です。

<p>株式会社アルフ</p> 〒155-0032 東京都世田谷区代沢 3-6-11 <p>TEL:03-5432-7170 FAX:03-5432-7172</p> ホームページ http://www.alf-net.co.jp/
